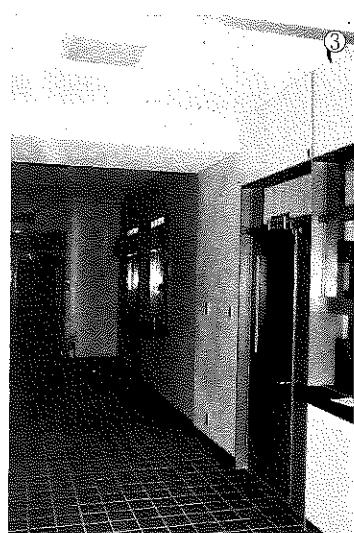
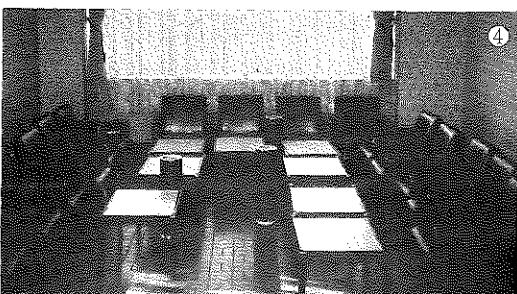


②



③



④



⑤

- ①…増築部分
②…装いも新しい玄関
③…フロアーと事務室
④…新小会議室
⑤…会館から望む三次市街

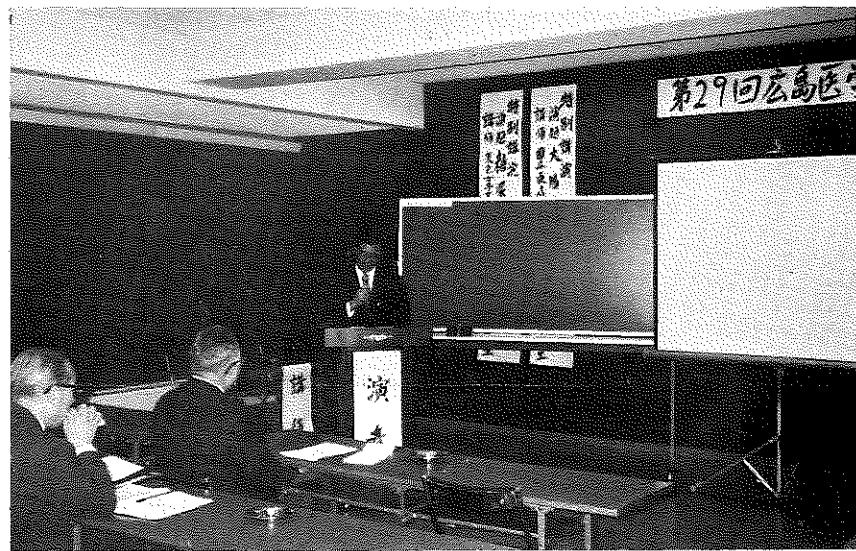
増築なった医師会館

昭和52年11月30日一年4回発行

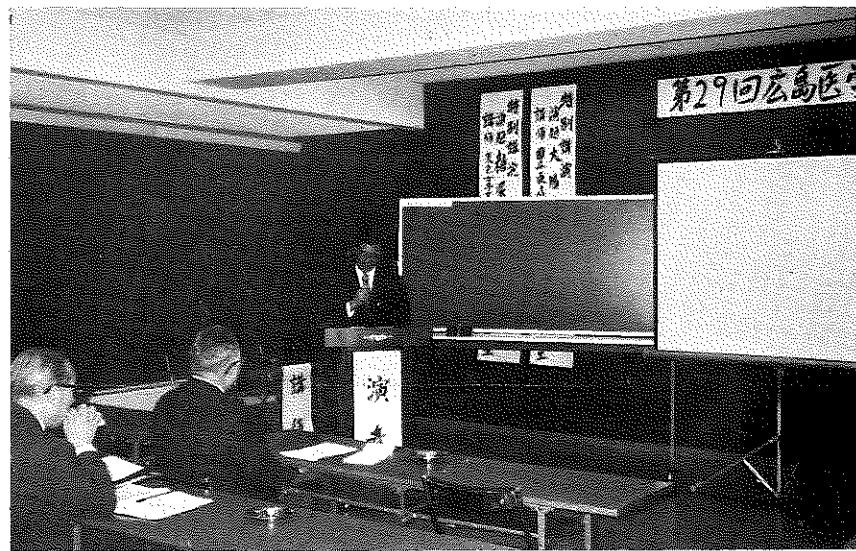
第29回

広島医学会北部支部大会

●とき 11月20日(日) ●ところ 三次市文化会館



上段写真・特別講演 平田幸正先生
中段写真・学会風景
下段写真・会議が終つて懇親会風景



双三中央病院内科 白川敏夫

て右近文三副会長の挨拶があり、
現在の医政問題についての現況を

アを交えての御講演は会員の日常
診療に非常に役立つたことと思う。

庄原赤十字病院外科

今年は研究発表が少なかつたせ
いか、又質疑、追加討論も一、三

以上で第二十九回広島医学会北
部支部大会の全日程を終了し、高

三、胃結核の一例

に留り会員研究発表も予定通り午
前十時五十分には終了した。

場双三地区医師会長の閉会の辞が
あり、引き続いて午後三時より懇

双三中央病院内科 山形幸男

午前十一時から特別講演として
午前十一時から特別講演として

親会が開催された。

四、家族性胃十二指腸潰瘍の一
家系

前十時五十分には終了した。

親会はやや参加会員数が少な
くなつてはいたが、それでも和気
あいあいの中に歓を尽し第三回

厚生連吉田病院内科

が終り、その要旨は三面に掲載

大森仁也先生
続いて特別講演の二題目として
我が国糖尿病学会の権威である東
京女子医科大学内科教授、平田幸

五、老年学入門 林 融

が終り、その要旨は三面に掲載

正先生の「糖尿病について」を聴
講した。私達第一線に立つ開業医
にも平易に分かり易く、またユーモ

六、ガードナー症候群の一例

があった。その要旨は三面に掲載

昼食後は、県医師会長代理とし
いながら散会した。

一、胆囊の捻転症の一例

が終り、その要旨は三面に掲載

双三中央病院外科 小原俊一
研究発表は次の六題で、演者は次の
通りであった。

双三地区医師会長、野村節也会
長の開会の辞で始まり、会員の研
究発表は次の六題で、演者は次の
通りであった。

双三地区医師会長、野村節也会
長の開会の辞で始まり、会員の研
究発表は次の六題で、演者は次の
通りであった。

双三地区医師会長、野村節也会
長の開会の辞で始まり、会員の研
究発表は次の六題で、演者は次の
通りであった。

演題 大腸疾患について

国立広島病院消化器内科部長 大森仁也先生

結腸の検査は上部消化管に比し
病変も少なく、検査自体も煩雑な
ため、一般には施行しにくい面が
ある。しかし近年結腸癌が増加す
る傾向があり、炎症疾患、特に潰
瘍性大腸炎、例数としては少ない
が、クローリン病・腸結核等も見ら
れ、それぞれの診断が必要となっ
て来ている。

結腸疾患の検索には注腸と大腸
ファイバースコープが行われてい
るが、一般的にはまず注腸、次に
大腸ファイバースコープの検査順
に行われる。注腸では同時に全体
像が把握できる点有意義であり、
内視鏡では、その色調の変化等の
検索ができる、更に生検による組織
検査が可能な点が利点がある。
ここでは最近めざましい進歩を
示した内視鏡を中心に述べたいと
思う。

その術式についてであるが、挿
入者と器械操作者の二人の術者で
施行する。その挿入方法はスコー
プを「逆の字型」に挿入して行く。
それは挿入困難なS状結腸の通過
を容易にすることと、スコープ先
端への力が十分にかかるようす
るためにある。実際に深部へ挿入し、
脾わん曲部にスコープ先端をかけ、
少し抜きながら逆の字型と逆回転
するとS状結腸が直線化して、挿
入が更容易となり、深部挿入が
可能となる。

結腸疾患の検索には注腸と大腸
ファイバースコープが行われてい
るが、一般的にはまず注腸、次に
大腸ファイバースコープの検査順
に行われる。注腸では同時に全体
像が把握できる点有意義であり、
内視鏡では、その色調の変化等の
検索ができる、更に生検による組織
検査が可能な点が利点がある。
ここでは最近めざましい進歩を
示した内視鏡を中心に述べたいと
思う。

その術式についてであるが、挿
入者と器械操作者の二人の術者で
施行する。その挿入方法はスコー
プを「逆の字型」に挿入して行く。

それは挿入困難なS状結腸の通過
を容易にすることと、スコープ先
端への力が十分にかかるようす
るためにある。実際に深部へ挿入し、
脾わん曲部にスコープ先端をかけ、
少し抜きながら逆の字型と逆回転
するとS状結腸が直線化して、挿
入が更容易となり、深部挿入が
可能となる。

また他の方法として腸紐を使用
するものがある。その方法は四米
の斎藤式の診断用腸紐を用い、術
前二日前に経鼻的に紐を挿入し、
紐の他端を耳に固定し、肛門より
の排出を待つ。我々の経験では平
均約三七時間で排出される。内視
鏡施行時に生検針子孔へ紐を通して、
その腸紐に沿って「ロー・ブウェイ
方式」で挿入すると、腸が短縮、
場合によってはこれによりS状結
腸が直線化し、盲腸等への深部挿
入がより容易となる。我々も症例
に応じ、腸紐の使用を試みている
が、狭窄のあるものは注意を要す
る。最近では器種が改善され、二
チャンネルのものがあり、生検鉗
子孔と腸紐等を用いる処置用孔と
を備えたスコープもある。

それぞれの症例についてである
が、まず問題となるのは降臨病変
で、ボリーブの癌化は胃に比し、
結腸の場合非常に重要な問題である。
また結腸ボリーブは出血しやすい
傾向にあることも問題である。そ
こでそれを予防あるいは治療と言
う意味で、内視鏡的ボリーブ摘除
術が有用である。

その方法は生検鉗子孔よりスネ
ヤーを挿入し、その先端のワイヤ
ーをボリーブの下端にかけ、締め
つけながら高周波電流を流し、止
血しながら焼灼摘除し、それを吸
引装置で吸引するか、或いは異物

鉗子で挟み、スコープと共に抜去
する。この方法によると開腹の必
要もなく、内視鏡的外科手術とも
呼ばれている。しかし結腸壁は胃
壁に比し薄く、穿孔については十
分に注意する必要がある。

次に慢性炎症、特に潰瘍性大腸
炎についてであるが、我々の病院
で九年間に二六例経験しており、
その中で手術例一例、その他はス
テロイド剤及びサラゾビリンでコ
ントロールしている。特に劇症例
を除いてはサラゾビリンのみでコ
ントロール可能と考える。

臨床的には増悪と緩解をくりか
えす慢性疾患で、レ線的には広が
りによつて、全結腸型・左半結腸
型・局所型等に分けられる。その
所見はハウストラの消失、棘形成
等を認め、連続性に結腸が障害さ
れる。

内視鏡的には急性期・慢性期と
に分けられ、急性期の初期像とし
ては、粘膜発赤・細顆粒状、易出
血性を認む。中等症では粘膜の凹
凸不整・ひらん・浅い潰瘍を形成
し、更に重症になると潰瘍の拡大・
出血・滲出物が著明となる。

慢性活動期では炎症性ボリーブ・
粘膜の凹凸・発赤・易出血性を残
すが、静止期に入ると、粘膜萎縮
・瘢痕・炎症性ボリーブを残し、毛
細血管の透見像が回復して来る。

その他の慢性炎症として、結腸
結核では潰瘍は大きいものから、
多発する小潰瘍・瘢痕まで種々認
められ、その辺縁はクリアカット
で、潰瘍と潰瘍の間に正常粘膜を
認める。また組織学的には乾酪性
肉芽及びラングハンス巨細胞を認
める。更に結核菌を証明すれば確
診が得られる。

内芽性大腸炎では分節状に侵さ
れ、狭窄を認め、潰瘍は継長で深
く、その周囲に敷石状外観を呈す
部位もある。潰瘍が深いため膿孔
形成を見ることがある。また潰瘍
性大腸炎に比し、直腸を犯すこと
は少ない。組織像ではいわゆる「
よばくれた」非乾酪性肉芽を認む。

最近報告の数も増ええて来た単純
性非特異性潰瘍は罹患部位が狭い
範囲に限局し、その病勢の進行に
増悪と緩解をくりかえすことはな
い。

以上述べて来た症例について、
それぞれレ線・内視鏡・組織所見
を提示してきた。その他アフタ性
結腸炎・回盲部ペエーツエットを
思わせる症例、多発性結腸のう腫
症・結腸憩室症等を提示した。

まだ経験も浅く、今後共例数を
加え努力して行きたいと思つてい
る。終りに、このたび広島医学会
北部支部大会で私の如き若輩に講
演の機会を与えていただき、心から
感謝いたしております。

その方法は生検鉗子孔よりスネ
ヤーを挿入し、その先端のワイヤ
ーをボリーブの下端にかけ、締め
つけながら高周波電流を流し、止
血しながら焼灼摘除し、それを吸
引装置で吸引するか、或いは異物

組織学的には特異な像はないが
潰瘍は浅く、線維化・肉芽形成は
なく、高頻度に腺窓膿瘍を認める
が、組織学的には確定診断は困難
であるため、臨床経過・し線所見
及び内視鏡所見が診断のより所と
なる。

消化器系鎮痙・鎮痛剤

上腹部痛に制酸剤の効果持続に…

ダイビン錠

一般名: N-メチルスコホラミン・メブレ・硫酸塩 認別番号: 106

第一製薬株式会社 東京都中央区日本橋三丁目14番10号

GERM-リーム・フランス代理品

Daipin®

抗動脈硬化剤

抗キニン性・抗遲延型炎症反応因子性
血管透過性亢進阻止剤

ANGININ

アンジニン

BANYU PHARMACEUTICAL CO., LTD



医
師
会
だ
よ
り

昭和五十二年九月一日～昭和五十二年十一月十五日

9月8日	9月30日
・特別委員会「センター職員との懇談、センター職員共済制度の件、建築、設備の件」	学術講演会
出席者 野村会長、鳴戸副会長	九州大学循環器内科教授
・広島県国保連合会出張受付	特別講演「狭心症とその治療」
9月9日	10月8日
広島県国保連合会出張受付	在宅当番医制事業運営費補助金交付説明会
9月13日	10月12日
結核審査会	鳴戸副会長、中西事務長出席 当番医会議
9月20日	10月12日
郡・市地区医師会長会議	協議事項
9月23日	10月12日
広島県医師会産業医研修会 於双三地区医師会館	・鳴戸副会長より在宅当番医制事業運営費補助金交付について伝達。
広島県医師会産業医部会	・在宅当番医制事業運営明細書作製について。
(1)産業医の職務	出席者
広島労働基準局安全部衛生課長 藤坂久雄先生	野村、鳴戸、箕岡、右近文三先生
(2)健康診断の評価	出席者
広大公衆衛生助教授 吉永文隆先生	藤井、荒瀬(秀)、板橋、黒瀬(貞)、小川(泉)、岡崎、佐藤、荒瀬(敏)、藤谷、酒井、近藤各先生
東洋工業病院長	野村、鳴戸、箕岡、
浜田 豊先生	野村、鳴戸、箕岡、
10月13日	11月11日
結核審査会	緊急合同役員会 土地購入の件
理事会	出席者 野村会長、鳴戸、高場副会長、田中、三浦、岡崎、箕岡、湯浅各理事、荒瀬議長、吉光、大谷、岸
10月20日	11月17日
協議事項 「北部医学会について」	結核審査会
(3)総括並びに質疑応答	出席者 野村会長、鳴戸、高
広大衛生学教授	出席者 野村会長、鳴戸、高
奥田久徳先生	出席者 野村会長、鳴戸、高
大谷直樹	出席者 野村会長、鳴戸、高

(前回発行の昭和52年度役員名簿に不備がありましたので謹んでお詫びすると共に再掲載いたします。)



学会北部支部大会後の懇親パーティー風景
高場迷カメラマンはあちこち飛び回って大奮闘

場西副会長、田中、若本、箕岡、三浦、岡崎、谷岡、湯浅各理事

11月20日 田各監事
第29回広島医学会北部支所大会 特別講演「大腸疾患について」
於三次文化会館 東京女子医科大学内科学科教授 大森仁也先生

11月25日 平田幸正先生
第17回「巴杏」編集委員会 員 集委員長、田中編
出席者 高場副会長、田中編
谷酒井、谷岡各委員

特別講演「糖尿病について」

東京女子医科大学内科学科教授 大森仁也先生

特別講演「大腸疾患について」

於三次文化会館 平田幸正先生

特別講演「糖尿病について」

東京女子医科大学内科学科教授 大森仁也先生

鎮痛・解熱・消炎剤
ノンフランミン®カプセル
一般名＝塩酸チノリジン (単位当り￥28.00)

鎮痛・抗炎症剤

ノンフランミン®カプセル

一般名＝塩酸チノリジン

(単位当り￥28.00)

製造＝吉富製薬株式会社
販売＝武田薬品工業株式会社

製造発売元 住友化学 医薬事業部
販売元 稲畑産業 医薬事業部

鎮痛・解熱・消炎剤
インテバンSP
《スパンヌール カプセル》

会員紹介

長岡 淳先生



大正十二年亥の年生

旧三次中学、旧松山高校、九州大学医学部卒業。友田外科出身、福岡市近郊の諸病院外科を遍歴、昭和二十七年帰郷し、双三中央病院に就職。今日迄二十五年に至る。三十歳で結婚、息子一人を授かる。昨年十一月病院長を辞し、現在顧問職。これからの時代は、私の様に延々と勤続する人はいなくなると思う。

私の青春時代は苛烈な戦時下であり、多くの友を失ったが、私は医科系の為、学生勤員を免かれ、結局終戦を迎える。軍隊経験はせぬままであった。この為、人間の極限状況に於ける対応の仕方に関して、残念ながら腹の据わり方が不足しているのを感じざるを得ない。この事は、私より若い年代の人々にも多かれ少なかれ当てはまるのではないか。数年前の石油ショック以来、我々の心のどこ

かに、日本の未来に対する不安が生じたにもかかわらず、相変わらず甘えの構造が維持され、狭い国土の中で、よそ事の様に無自覚に人口は増殖し、無資源国でありながら節約とエネルギー開発のキャンペーンは起らず、マスコミに指導され公の名の下に、国の富が不相応に消耗されていくうちに、折角貰い受けた自由を返上する日が遠からず来るのではないかと心配である。

何とか仰々しい建前論者の弁舌に興奮する事なく、静かに脅者の言葉に耳を傾むける知恵を持ったものです。

中村知己先生



大正十二年二月十日生

双三郡布野村上布野一四八五ノ一昭和二十三年九月九大医学部卒業。昭和二十八年八月君田村へ出張開業。昭和四十八年十月布野村にて父墓し。

父 小生 妻 との三人

父もそうであったが、小生も大の釣りファン。特に鯉つり。最近諸先生方の楽しまれているゴルフには全くの無縁、といつても会員証を持つているばかりに、一回も使用しないのに毎年会費をとられてぼやいてはいるが。君田へ居る頃は朝食前の一~二時間、夕食前の一時間が継ぎりの時間。つれて十年に一回位は二尺位のが一尾はつれるから。布野へ帰つてからは大きい川が近くにないと、又父の病気、或は小生の体力の衰えからか、釣に出かける機会が少なくなった。これからは健康のためにも出来る限り早起きして釣を楽しめ、体力の衰えを防ぎ、今日の、そして明日の診療に頑張りたいと思っている。

家族 父 小生 妻 との三人

と共に診療に従事現在にいたる。

長男 山大医学部大学院在学中
長女 山大理学部数学科在学中

荒瀬敏博先生



大正十二年一月二十五日生

私が学校を卒業し、三次へ帰ったのが昭和二十五年です。元気だった父に、毎日々々、下品な言葉で罵られました。そして或る日、父の曰く、わしより大きい鰻を釣つたら嫁を貰つてやると。亦父の悪い冗談と許り思つて居ましたが、それが本当に実現したのは驚きました。怖いと思つていた父に、また嫁を貰つてやると。父の御活躍されたり、私が元気で、御活躍されたり、私が一番若い会員でした。

父逝去後、数年余りで当地を開業し、今まで七年余大過なくやつて来られたのも、父のお陰と思つております。

家族構成は、妻と、二人の女の子がおります。

これから残された人生、好きな魚釣り、竿を担いて山陰地方を馳け廻りたいと思っております。

健保適用 抗炎症・抗腫脹作用がすぐれている!

消炎酵素剤 オノプローゼSA

- 手術後の浮腫
炎症症状の緩解
 - 外傷による浮腫
炎症症状の緩解
- 小野薬品 大阪・道修町

	包装	薬価基準
カプセル	5mg 10mg	600,1400カプセル 1カプセル32.20 1カプセル58.20
顆粒	1g	500g 1g 58.20

新 広域合成ペニシリン

パセトシン®

「日抗基」アモキシシリン製剤

薬価 ■ 125mgカプセル 137.40 • 250mgカプセル 268.00

■ 細粒 1g 197.60

協和酸酵 特許許諾 英国ビーチャム社



日本の ふるさと

京都探訪記

年一回吉舎医会の一泊旅行は、今年は表題の京都を行きとなつた。去る十一月二十六日（土曜日）午後一時、小雨の降る中を新幹線三原駅に向う。二時間三十分雨の降り続く夕暮の中ネオンの輝く京都駅に着き、京都ホテルを今夜の宿とする。荷物もそぞろに夕食は懐石料理を鴨川辺りの先斗町「松友」と言う料理屋でとる。広島とは一味違う料理に先ず京都の味を堪能する。午後九時三十分土曜日の本斗町、四条通りは若い男女の人通りで一杯、その中を通り抜け京都名物年末の歌舞伎顔見世興行の始まる南座を右に見て、今回最大の目的祇園に行く。花見小路八坂町に入ると、今迄の雑踏とは別

の紹介で今夜は楽しむことと相なつた次第である。その田代先生も同席され、三十分後に待望の「舞妓」が登場する。話に聞いたり、絵で見た通りの白い厚化粧の人間形で、多く語らず時々お客様の我々五人にわるがわるお酌する程度、三味線を弾く芸者、お女将も同席して舞妓が祇園小唄を踊ってくれる。そして一同舞妓を囲んで記念写真を撮る。京都の夜は更け行きあちこちのお茶屋から三味線の音だけが聞こえるだけで、本当に静かな夜の街である。舞妓も現在は十七名しかいなくて、その上あちこちのホテル等へ観光顔見せにあい間をくぐって出張するとかで、なかなか多忙のことであつ

まらぬ所で米国に感謝した次第。
翌二十七日は祇園を午前様になつて出てからは何處にもある夜の街をうろつき、午前三時頃にホテルに帰ったためか、午前十時頃になつても起きて来ない先生もありません朝食もしないでタクシーに乗り京都見物に出かける。車は先づ清物屋、八つ橋の聖護院本店、京観世蔵、「菓子」の鶴屋吉信、西陣会館に行き西陣織を織っている所を見学してネクタイ、マフラー、財布等を各自買う。買物をしている間タクシーは道路の歩道に一部入つて停車しているが、交通違反しているのに少しもとがめられない様だ。之も観光都市で観光客とタクシーノの運転手の便利をはかるためか

葉の松では日本一大きいという左
右へ五十米枝を広げる重要文化財
の松を見る。此処から京都市全部
が一望に眺められる。次いで清水
焼の窯元を見学する。薪で焼くの
ではなく、電気で一、二〇〇度の
熱で焼くので失敗は全くないとの
こと。旧い焼物と全く同じ様な物
も出来るからにせ物もどんどん出
来ると言う。然し良い物は六〇〇
万円もあるとのことで、現に店には
陳列してあった。京都駅に向う途
中は竹薮があり、竹の子料理専門
店もあり、竹薮も吉香地方の様な
藪でなく、きれいに整地され肥料
もほどこされていた。

世界の如く變つて、格子戸の小さなたたずまいのお茶屋がひつそりと並んでいる。格子戸をくぐり入ると「おいでやす」とあのやわらかい京都弁のおかみの声に迎えられ、各人おずおずと座敷に上がり狭い廊下、階段を上がり座敷を通る。座敷の次の間は舞妓の踊る座敷が続いている。早速典型的の京美人山本富士子を少し太めにした美人芸者が来て盃をあげる。祇園

た。そのうち又一人の芸者が入って来たが、他の座敷に出ていたのだろうか大分酔っていて、得能先生に盛んにからんでいた。午後十二時迄居たが舞妓は約一時間程いてまた次の座敷へ移つて行き、芸者が一人残つて座敷をとりもつていたが、なかなか上手で三時間があつと言ふ間に過ぎてしまった感があり。然しその間食べるものは全部「つまりもの」程度で箸で食べるのは全くなし。本当に芸者の芸を楽しむと言ふことであった。戦前であつたら到底我々の来れる所でなく、こちらも我々の食いつ

違ひ赤一色で、その中にけわしい山に北杉の緑が点在しており、はるか下には保津川が流れて遊覧船が下つて來ておる景色は、全く雄大な一枚の画である。嵐山渡月橋に下つつもりが、車が多くて帰る新幹線に間にあわないと言うので、昼食は嵯峨野五台山清涼寺の境内にある「竹仙」で「湯どうぶつ」定食を食べる。酒は「般若湯」ビルは麦般若、と言い、土鍋で豆腐と湯葉をたいてくれる。寺を出て、うずまさ映画村、広沢の池、苔寺等々の旧所名跡の前を素通り

と感心する。車は北山杉で有名な北山に行き、床柱の作りかけの杉柱を見る。暖冬のため未だ紅葉が綺麗と言うことで高雄山スカイラインを登る。旧き巨木の紅葉の木ばかりの紅葉で全く美しい。広島

て約一時間色々な場所を放映して
いたが、我々が一日で素通りした
所以外に、まだまだ観る所は沢山
あり、日本のルーツを十分に見せ
てくれたのを見られた先生方も多
いと思います。うづうろしい毎日



編集

復刊第一号をやつと上稿して皆様にお届けします。もう少し早く出来る予定でしたが学会の原稿と、吉倉医会の旅行がすむのを待って発刊しましたので、約十日ばかり遅れましたことをお詫びします。

例年より暖い十二月の毎日が続いていますが、来年は我々にとっても色々の意味で寒い年になりそうな気配がします。毎日の新聞を読んでもマスコミに叩かれて続けて、向寒の砌、御健康に御留意の上すこやかに御越冬され、きびしい来年に備えて下さい。

中